

## ▼リンデロン懸濁注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ベタメタゾン酢酸エステル+ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム betamethasone acetate/betamethasone sodium phosphate 【分類】 合成副腎皮質ホルモン剤

【単位】 ▼2.5mg/0.5mLA [ベタメタゾン酢酸エステル2mg+ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム0.66mg]

【用法】 添付文書参照

【透析患者への投与方法】 尿中未変化体排泄率が低いため減量する必要はないが、透析患者の消化管は脆弱であるため注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 ベタメタゾンの酢酸塩とリン酸塩とを混合懸濁し組織貯留性を高めた製剤。抗炎症、抗アレルギー効果、広範囲にわたる代謝作用、種々の刺激に対する免疫反応の修飾が期待される。

【主な副作用・毒性】 誘発感染症、白内障、緑内障、骨粗鬆症、骨頭無菌性壊死、ミオパシー、副腎皮質機能不全

【代謝】 肝代謝 (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない

【備考】 急性心筋梗塞直後に投与された場合に心破裂をおこすことがある。

【更新日】 20140505

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。